

【服装・頭髪・持ち物】

<頭髪>

- ・清潔感があり、奇抜（左右非対称やそりこみなど）でない髪型とする。
- ・脱色・染髪は禁止とする。
- ・うねりを加えるパーマは禁止とするが、くせ毛に対する縮毛矯正等は保護者からの申し出により相談に応じる。
- ・襟につく場合は髪を結び、まとめる。結ぶ位置は前から見たときに結びが見えないような高さで後ろで結ぶこと。（活動の妨げになるので横に流さない）
- ・ゴムの色は黒・紺系統の目立たない色を使用する。ゴムは手首につけないこと。
- ・前髪は目にかからない長さとし、これより長くなる場合にはピンでとめる。ピンの色はゴムと同様とする。
- ・整髪料の使用、髪を編み込むのは禁止とする。
- ・ピアス・カラーコンタクト・つけまつげ（エクステ）等手を加えることは禁止とする。
- ・化粧等は禁止とする。

<制服の着方>

- ・夏季・冬季の制服移行期間や衣替え等は、実施しないため、各自の判断で季節に合わせた制服の着用すること。
- ・ブレザーの前ボタンはすべて閉める。
- ・ネクタイ・リボンを着用する。リボン・ネクタイを着用する際はYシャツの第一ボタンは閉めること。ポロシャツにブレザーの着用はしないこと。
- ・ズボン・スカートは折ったりせずに、長い場合には裾上げを行い調整する。

<肌着>

体操着の下に着る。体操着のそでから見えない袖の長さ。
色は単色の白・黒・ベージュ・グレーとする（華美でないもの）

<靴下>

色は白・黒・紺・グレーを基調とし、ワンポイント可。ライン・滑り止め付きのものは可。
キャラクターもの、柄・水玉などははかないように指導する。

くるぶしソックス・ハイソックス可

- ・冬服期間のみつま先まで覆われているインナーや足首までのインナーを着用しても良い。（いずれも黒色）

※レギンス等の足首までのインナーを着用する場合は、肌が見えないように着用すること。

<靴>

・色は白・黒・紺・グレー基調としたもの。運動に適した靴を履くこと（スニーカー・ハイカット・ブーツは運動に適さないため禁止）

<バッグの使用方法>

・授業がある時は、必ず指定されたカバンを持参して登校する。

※リュック・黒バックは安全のために肩にかける。

*落書きはしない。

*アクセサリーはつけない。（お守り一個程度は可、自分のリュックを識別するため）

*形を変えたりしない。

*青バッグは両腕に通さない。

<持ち物>

・教材に関しては、原則持って帰らなければいけないものは学校では定めず、引き出しにきれいに管理できていれば、置いていても良いものとする。

・教室にある教材棚については、各クラスで使い方を決める。

・学校で許可した物以外は持ってこない（携帯電話は持ってこないこと）。

・必ず名前を書く。

・リップクリームやハンドクリームは無香料のものを使用すること。

・水筒…年間を通して持ってきてよい。

※水筒の中身をもらうことは禁止。あげるのも禁止。

※水筒は、移動教室の際に持ち歩き、各自で確実に管理すること。

※中身は水、スポーツドリンクか湯茶に限る。ビン、カン、ペットボトルは禁止。

※補充用のペットボトルは可とする。直接飲むのは禁止（衛生面から）

※入れ替えたペットボトルは学校内に捨てず、持ち帰ること。

・弁当…各自で用意して登校する。外へ買いに出たり、登校の途中に買うことは禁止。ゴミは全て持ち帰る。自分の教室もしくは指定された教室で食べる。

○
・リップクリーム、ハンドクリーム ・日焼け止め
※いずれも無香料のもの
・くし

※特別な理由があれば、配慮される場合があります。その場合、保護者の方から書面（生徒手帳等）で提出してください。

<その他>

- ・友だち同士で家に泊めたり泊まったりすることは禁止。
- ・SNSについて各家庭での管理のもと適切に使用できるよう指導を行う。（トラブルの原因・いじめ問題に発展する危険性がある）
- ・カラオケ、ゲームセンターなどへの立ち入りは様々なトラブルが予想されるので注意すること。

夏期の学校生活について

【夏期の服装】

○夏の制服について

- ・半袖の紺・もしくは白のポロシャツか、白の半袖のYシャツを着用すること。

○暑さに対する対策

- ・日焼け止めは、無香料で塗るタイプのものを使用すること。
- ・日焼け止めの使用は、使用時間（休み時間）、使用場所（教室等）に注意し、自己管理すること。

※その他の制汗スプレー、汗ふきシート、その他、制汗剤の使用は原則なし。

- ・登下校時はなるべく帽子を着用し、熱中症対策をすること。
- ・こまめに水分を補給し、脱水症状を起こさないようすること。
- ・熱中症対策として、首元を冷やすネッククーラーを登下校時使用しても良いが、校内では使用しないこと。
- ・登下校の際、日傘を使用してもよい。

○ジャージの着用について

- ・冷房の関係から、着用することは禁止にしないが、外での集会、武道場での集会など高温が予想される時には脱ぐようにする
- *紫外線アレルギーなど特別な事情がある場合には配慮する
- ・長袖Yシャツの着用時に袖を折りこみ着用しても構わない。

冬期の学校生活について

【冬期の服装】

＜コートについて＞

寒い場合は家にある華美でない上着をブレザーの上から防寒着として着用を可能とする。
ただし、ロッカー・鞆へ収納できる範囲内のものを着用する（ベンチコートなどは収納が困難）

＜セーター＞

スクールセーター、もしくはカーディガンを着用する。色は黒・紺・グレーでワンポイント可。

v ネック可。

＜マフラー・ネックウォーマー・手袋＞

デザインが華美なもの控え、学校生活にふさわしいシンプルなものとする。

＜肌着（機能性肌着も含む）＞

色は白・黒・グレー・ベージュとする。

長袖のインナーを着用しても構わないが、見えないようジャージを着用するなど工夫をすること。

登下校時、タイツ等のつま先まで覆われているインナーやレギンスなどの足首までのインナーなどを着用しても構わないが、ジャージに着替えた際は、外から見えないように着用する。

また、制服時にレギンス等（足首までのインナー）を着用した場合は、肌が見えないように長めの靴下を着用するなどの工夫をすること。

＜その他＞

・ウインドブレイカーやコートは、部活動時、学校の登下校時（上着のみ）以外、着用しない。

・ズボンやスカートの下にタイツ等を履いて防寒を行ってもよい。

・ジャージを制服の下に着用することは禁止。

・ジャージで過ごす場合、ジャージの下にセーター・カーディガンを着用しても構わない。

・職員室に入室するときは、荷物を置き、防寒具（コート・マフラー・手袋）は外してくること。

・セーターでの移動は認めるが、登下校・集会・式典時には必ず上着を着用する

・使い捨てカイロは使用してよいが使い終わったものをごみ箱に捨てない（発火の危険性があるため）

* 耳当ての使用は周囲の音を遮断し、安全な登下校の妨げになるので使用しないこと

* 教室内に置いてひざ掛けを使用してもよい。ただし、移動の際は畳んで持ち運ぶこと。

また、ひざ掛け等の管理は必ずすること。

* ニット帽など帽子の着用はしないこと